

竹島近海にサンマ

島根丸産卵を突止む

ブリの幼魚もうよく

縣水産試験船島根丸は五月二十六日から二十九日にかけて浜田港より正北百三十マイルの地点にある竹島近海の調査を終えてこのほど歸つて来たが調査結果によると竹島近海に多くの秋刀魚の産卵が見られ、従つて秋刀魚の棲息をつきとめ得たので歸浜後水産高校丸川校長に之が研究を依頼中のところ、この程次のような事実が明らかにされた即ち太平洋側の秋刀魚の産卵は大体十一月から一月頃にかけて行われるがこの竹島近邊の秋刀魚は多少水溫の差はあろうがそれとは全く時期を異にした五、六月の候において産卵することが確かである、今まで不明であつた日本海側の秋刀魚の産卵期が突証されたわけである、其の他竹島近海では鱒の幼魚も多量に棲息し浮流する海藻のホンダワラと共に移動しつゝあるのを試験船が漁獲して歸つたが之は従來水試場で判らなかつたのを矢張り丸川校長により明確にされたもので、これらの幼魚は体長五三ミリから一七〇ミリの珍しい水揚であつた、なお伝えられる竹島居住の密漁朝鮮人は現在約三十人位で貝類や海藻を採取して暮しを立てゝいるとの事である

政氏の動物園に建立される時計塔の四面大時計の注文が益田市上吉田日の丸時計製作所新美留吉さんのもとに舞い込み、この程精魂を打ち込んだ大時計が完成して、十日の時計の記念日に盛大な記念式が同園であげられることになつたもの、新美さんは昭和二十五年時計自体を振り子とした時計の特許をとり台湾向け輸出の品として今春より企業化に着手、引續きギター時計の生産と取組んでいるが池田家に入入りする一商人がこれを知つて注文依頼となつたもの、高さ四十二尺の時計塔に取付ける四面時計は文字板の直徑が三尺という大時計名古屋から材料を取寄せ、粒々辛苦の末二カ月がかりでやつと完成したものの、製作費は約五万円